心のUDみーつけた

北庄内小4年1組

静岡新聞
出前講座

静岡県の作品「紅雲の雪景　富士」

浜松市立北庄内小の4年生47人は10月13日、同市のはままつフラワーパークで行われている浜名湖立体花博を訪れ、会場内を見学した。てんじされている大きな花と緑の立体アート91作品をかん賞したほか、ユニバーサルデザインについても会場から学んだ。

浜松市のモザイカルチャー作品「ほほえみのハーモニー」前に設けられたかんばんには、「人と自ぜんのシンフォニー」や本市のとくちょうの「花と緑の町浜松」「音楽の町浜松」などとかいてあった。外国人のかんこうきゃくのために英語でもかいてあった。会場には車いすの人やお年寄りも多かったけれど、スロープなどを使い、楽しんでいた。

入り口前にてんじされている「ウナギイヌ」は、通学中に見ることができた。はり金のかたまりに葉をつけたらウナギイヌの形になった。葉だけで色や形を短いきかんに作るようすを見て、勉強になった。1組の生徒は、「中国の祈福門が大きくてりっぱだった。おどろいた」と話したり、「何度行っても新しい工夫を見つけられる。今度は夜に行き、また新たな発見をしたい」とのべた。

浜名湖立体花博は「人と自ぜんのシンフォニー」をテーマに、世界24カ国・地域と国内58都市・団体が参加している。23日までおこなわれている。

明るく元気な23人

「モザイ君」も作品になった

先生の一言

花やはっぱだけであんなに大きなものや細かいところまで作ってすごいなと感動した。

静岡新聞の購読申し込みは　静岡新聞　0120-89-4311